

# 2019 年度春季海外研修（スペインコース）研修レポート

社会福祉学部 W さん

## 1. 参加したきっかけ

私は小学校入学前から大学までサッカーを続けていて、もう十年ほどスペインのサッカーチームであるレアル・マドリードの大ファンです。サッカーがきっかけでスペインの文化にも興味を持つようになり、第二外国語でスペイン語を選択しました。そして、先輩からこの研修の話を知っていたので、友人と共にこの研修に参加しようと講義が始まる前から話していました。初めての海外だったので不安な部分もありましたが、大学生のうちに色々な経験をしておきたいということと、やはり憧れのスペインに行ってサッカーが見たいという気持ちで参加を決意しました。一緒に行く友人の存在も心強かったです。

今回、コロナウイルスの影響でプログラムを全うできなかったことは本当に残念に思います。そんな中でも感じる事ができたスペインの魅力やこの研修についてまとめていきます。

## 2. 授業について

授業は9時～11時、30分の休憩を挟んで11時半～1時半の2時間×2コマでした。初日にテストを受けて、3クラスに分けられ、私は一番易しいクラスでした。初回の授業から99%スペイン語の授業で、内容は既に日本で習ったことの復習のような感じでしたが、内容が知らない部分になるにつれて、先生の指示を理解するのにとても苦労しました。ただ、先生方はとても優しく、丁寧かつ面白く授業を進めてくれました。そのため、慣れない分疲れはしましたが、授業自体が嫌になることやつらいと感じることはありませんでした。また、課題がほぼ毎日出されましたが、難しいものではなく、時間としても負担になることはありませんでした。習ったスペイン語で友人と話すのも楽しかったです。

## 3. アクティビティについて

コーディネーターの方がほぼ毎日のようにアクティビティを用意してくださっていました。美術館や夢だったサッカー観戦ができなかったことは心残りですが、これはまたスペインにくる目的ができたと考えることにしました。実際に参加したアクティビティでは、コーディネーターの方に大学があるアルカラの街や泊りがけで行ったコルドバ・グラナダを案内していただきました。建物や銅像などをただ見て回るだけでなく、その歴史や豆知識などを教えていただきながら観光することで、より興味が湧いて面白かったです。

また、バスの乗り方やおすすめのお店やお土産など、いろいろなことを教えていただけたので、後日、自分たちだけで出かけるときに、何をするか、どこに行くかに困ることがなく、とても助かりました。

## 4. 寮での生活について

私はホームステイでやっていく自信がなかったので、大学の寮で友人と二人部屋で生活していました。もちろん、一人部屋もあります。寮にして良かったことは、自由に行動できたことと、すぐ近くに同じ研修の仲間がいたことです。食堂で一緒にご飯を食べたり、放課後に買い物やバルに出かけたり、天気の良い日は中庭でサッカーをしたりと、かなり充実していたと思います。ちなみに食堂はパエリアと牛乳パン

がとてもおいしかったです。また、今回の研修ではサッカー好きが結構いたので、3日に一回くらいのペースでサッカーをしてかなり仲良くなれました。慣れない土地で近くに同じ仲間がいるというのは心の支えにもなっていたと思います。

さらに、設備もとてもきれいでしたし、スタッフの方も優しく、いつも挨拶をしてくれました。ホームステイを経験はしていませんし、スペイン語の勉強という意味ではホームステイの方が効果的かもしれませんが、個人的には寮にして良かったと思っています。

## 5. 生活全般について

やはり言葉がわからないというのは大きかったです。特に自分たちだけで外に出た時は、店員さんとコミュニケーションをとるのが大変で、何度も聞き返したり、辞書で調べたりしました。一度、クレジットカードでしか支払いができないバスに乗ったときにわからなくて手間取っていると、運転手さんに怒られたことがありました。英語で話しても通じないことも多かったです。ただ、そんなに言葉がわからなくても自分たちだけで電車に乗ってマドリードで買い物をして帰るといったことはできたので、それは少し自信になりました。授業で習ったことを活かして会話できたり、単語レベルでも聞き取れたり、話の内容が少しわかったりしてきたのはとても嬉しかったですし、語学を学ぶことの楽しさを感じられたと思います。

また、治安についてですが、大学のあるアルカラは特に問題はなく、マドリードや観光地などの人が多い場所では何度も注意された通りに「カバンを前に背負う」、「貴重品をテーブルに置きっぱなしにしない」などの行動をとって気を付けていれば、基本的には問題はないように感じました。実際、今回の研修中にスリにあったなどという話は聞いていません。

## 6. おわりに

まず、今回の研修に携わってくれた方全員に感謝しています。予定よりも短くはなってしまいましたが、ここには書ききれないくらい良い経験、良い思い出ができました。実際にスペインの文化の中で過ごしてみて、まだ一部ではありますが、スペインの良さを体感したのと同時に、日本の良さを再確認することができました。これも海外で過ごすことのメリットの一つなのかなと思いました。また、研修に参加することで自力よりは安心安全ですし、同じようにスペインやスペインサッカーが好きな人と一緒に様々な経験ができたのは本当に良かったと思います。今回行けなかったいくつかの美術館やバルセロナ、レアル・マドリードの試合観戦についてはとても残念ではありますが、またスペインに行く目的ができたと考えて、次の機会を楽しみにしておこうと思います。

そして、もしこれを読んでもくださった人でスペインに行ってみたいという人がいれば、ぜひこの研修に参加してもらいたいです。誰に言わされているわけでもなく、参加してみようと思いました。

最後に、繰り返しにはなりますが、この研修に参加することで貴重な経験ができ、有意義な時間を過ごすことができました。携わっていただいたすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 2019 年度春季海外研修（スペインコース）研修レポート

ソフトウェア情報学部 Hさん

私たち研修生は、2/29 から 3/16 までスペインのマドリード州にあるアルカラに 2 週間滞在した。平日はアルカラ大学アルカリングアでスペイン語の授業を行い、授業以外ではスペイン観光や食事を中心に楽しんだ。アルカラの街並みは我々日本人が想像するような石畳でできた街並みであり、景観を守っているような作りになっていた。この期間は、比較的温暖な気候で盛岡や滝沢と比べたら非常に過ごしやすかった。個人差はあると思うが晴天の日は半袖で過ごすこともできると思う。

街を歩けばそれは全て新鮮な体験であった。街の景観、匂い、スペイン人の立ち振る舞い、営業スタイルや生活スタイルなど五感で感じることでできるものは全て日本のそれとは違った。しかし、どれもこれも不快に感じることはなく、自分の場合は初日から順応することができた。そこには YES と NO をはっきりさせる文化がスペインにはあったからかもしれない。

スペインではというよりも日本以外の海外ではそうなのかもしれないが、日本を飛び出してしまえば、YES と NO をはっきりさせる文化がそこにはある。必要じゃないものは必要じゃない、美味しくないものは美味しくないとはっきり言う文化がスペインにはあった。そこには忖度というものはあまり存在しない。しかし、意見を主張することができれば相手は完全にその人の意見を鵜呑みにしてくれる。加えて相手への思いやりや親切心も強いので接していて不快感を全く感じることはなかった。

授業は、平日 9:00 から 14:00 でスペイン語の基礎をみっちり勉強した。スペイン語は比較的日本語の文法に近く、主語がなくても伝わることが多い。男性名詞や女性名詞といったスペイン語の名詞の特徴と動詞の活用系を理解することができれば意思疎通することはできた。

授業の終わりや土日はバルやショッピング、美術館観光、グラナダ・セゴビア観光など多岐に渡りスペインを堪能することができた。ここでも日本との違いに驚くことが多かった。一番印象的だったのがアルムデナ大聖堂である。私はスペインの歴史や文化についてさほど調べないで研修に行ったが、それでも身の毛が立ちつくくらい驚きと感動を感じたことを覚えている。まず入館してからの空気が違った。そこにはヨーロッパ屈指の歴史、何百年前の雰囲気というのが忠実に再現されていて、カトリックの全てがそこにあるようにも感じた。言葉で伝えるのが非常に難しい。しかし、その歴史の重さというのを肌で感じることはできたのは確かである。

ここまでスペインを簡単に説明してきたが、それ以上の楽しさと新しい体験を研修すれば体験することができる。

今回はコロナウィルスの影響により 3 週間を 2 週間に切り上げて研修してきたが、非常に

残念でならない。また、研修中常にコロナウィルスという恐怖や危険と隣り合わせの状態  
で研修してきたこともとても悔しい。毎日、数百人の感染者(3月時点)がいて、帰る頃には緊  
急事態宣言が発令し、外出することも禁止となってしまった。私の話ではないが、コロナ関  
連の差別やホストファミリーの家から追い出されるという仕打ちを受けた人も存在する。  
他大学の学生となぜ研修を強行するのかと直談判したのも今となっては苦い思い出である。  
そんな、理想とはかけ離れた悔しくて残念な研修であった。しかし、裏を返せばそんな研修  
でもスペインの魅力というのは十分に理解することができた。また、良い意味で消化不良な  
おかげで誰よりもまたスペインに行きたいという気持ちは強い。

今回は、誰にも真似することができない良い体験をすることができたと思っている。それ  
は、今後の旅行や人生の大きな糧になると考えている。

## 2019 年度春季海外研修（スペインコース）研修レポート

総合政策学部 Kさん

私は、H.I.S のアルカラ大学スペイン語研修に参加してきました。参加した理由としては、昔からスペインに行きたいと思っていたという事と、大学を休学してバルセロナにスペイン語留学をしたいと考えていて、スペインがどのような雰囲気なのか現地で確かめたいという目的もありました。ここで伝えたいことが1つあります。それは、「語学を学ぶにはその国に行くことが一番効果がある」ということです。この考えについては、昨年に3週間だけですがアメリカで英語を学んできた時にも感じていたことです。もちろん、個人的な意見なので反対する声もあって当然だし、これまでの語学の授業を否定するわけでもありません。ただ、いくら日本で文法的な知識を学習しても話せなければ意味がないし、実際に話せない人も私の身の周りでもたくさんいます。英語を学びたいなら英語圏の国、スペイン語を学びたいならスペイン語圏の国に行き、強制的に外国語で意思疎通をしなければいけない環境を作ることが一番効果があると実感しました。

### 1. 授業について

授業は平日の午前9時から11時、11時30分から13時30分の2コマに分かれていた。内容は自己紹介や出身地の紹介、スペインの紹介などを基本的な文法や語彙で表現することが中心だった。最初のうちは先生が何て言っているのかを理解するので精一杯だったが、時間が経つにつれて次第に聞き取れるようになっていきました。また、正しいことだけを発言するのではなく、間違ってもいいから積極的に声を出すことも大事だと感じました。

### 2. 滞在について

私は大学の学生寮に友達との2人部屋で滞在しました。寮には中庭やジムなどがあり、自由時間には中庭の芝生エリアで友達とサッカーをして、運動不足を少しでも解消しようと思いました。また、寮全体でWi-Fiを使うことができるので、日本にいる友達に電話をしたりYouTubeを見たりして過ごしていました。

食事は基本的に寮の食堂を使っていましたが、何回かは友達と近所のバルに行き、美味しいお酒と色々な種類のタパスを堪能しました。

スペインは基本的に温暖な気候なので、3月なのに部屋では暖房をつけていなくても多くの時間を半袖で生活していました。

### 3. アクティビティについて

スペインについて1週目の平日は、授業終了後にコーディネーターの方と色々な場所

を回りました。アルカラ市内観光では、おすすめのバルやレストランを紹介していただき、百貨店にいった際にはお土産におすすめの商品をたくさん紹介していただきました。マドリード半日観光では、アルムデナ大聖堂やマジョール広場、プエルタ・デル・ソル、サン・ミゲル市場などマドリードの主な観光地を回りました。また、エスタディオ・サンティアゴ・ベルナベウにあるレアル・マドリードのオフィシャルストアに行った際は30分程ですが買い物の時間があったので、友達とお揃いのジャケットやお土産を購入しました。

週末は1泊2日でコルドバとグラナダの2都市を観光しました。コルドバでは世界遺産のメスキータ寺院に行き、グラナダでは同じく世界遺産のアルハンブラ宮殿に行きました。グラナダでは、現地の日本人の方にアルハンブラ宮殿内のそれぞれの遺跡について詳しく案内していただき、とても内容の濃い観光ができました。

今回のスペイン研修は楽しかった思い出もたくさんありますが、それ以上に大変だったことがありました。それは、新型コロナウイルスの大規模流行です。2020/2/27（スペインに渡航する2日前）の時点では10名程しか確認されておらず、日本の方が感染者数が多い状態だったので、早く日本から出たいと思っていました。ですが、2020/3/10（スペインに到着して10日後）には1,600人（同時期の日本は500人程）を超えるなど、感染者数が急速に増加しているという事で大学側と相談し、本来の日程よりも1週間切り上げての帰国となりました。また、感染を避けるため多くの人が集まる場所に行くことができなくなり、サッカーが無観客試合、「プラド」「ティッセン」「レイナ・ソフィア」の全美術館見学と王宮見学が中止、セゴビア観光も中止になってしまいました。正直、スペインでやり残したことはたくさんありますが、反対にまたスペインに行くための目的ができたので今までよりもスペイン語の学習に力を入れようと思います！

## 2019 年度春季海外研修（スペインコース）研修レポート

盛岡短期大学部 Sさん

私は2月29日から3月23日のスペイン語学研修に参加しました。コロナウイルス拡大により3月15日の帰国となりました。2週間のスペイン生活を振り返りたいと思います。

### <きっかけ>

私がなぜスペイン研修に参加したのかというと、大学入学前からスペインに興味があり、留学に行く決めていたからです。大学に入り第2カ国語のスペイン語を履修しました。スペイン語を教えてくださいました三宅先生という方がとても面白く、スペイン語を1年間続けることが出来ました。スペインに留学することの魅力や、スペイン語を勉強する意味を毎週伝えてくださりました。1年間で基礎の基礎は学ぶことが出来ました。さらに、スペイン留学に行くという目標を立てたことにより、学生生活がより充実したものとなりました。

### <スペイン留学まで>

実際留学に行くとは決めていたが、何の準備もしていませんでした。授業で習った単語は覚えていました。しかし、ホームステイするに当たって必要な単語は山ほど有るなど考えました。留学1ヶ月前からスペイン語学研修に参加する友達と単語の出し合いなどの勉強を始めました。数字もすらすら言えない状態だったので重要な単語から覚え始めました。単語が分からないと会話が出来ないので、勉強しておいて良かったなと思いました。

### <アルカラ大学での学び>

最初の授業日にクラスわけテストを行いました。次の日から15人程度の人数での授業が始まりました。文法と会話の2コマを週に5回行いました。先生も自分たちのレベルに合わせて丁寧に教えてくださいました。3人の先生の授業を受けたなかで、全ての先生が板書を消すスピードが速かったです。そのため、書くスピードが上がった気がしました。私たちのクラスはほぼ毎日と言っていいほどの課題が出されました。簡単な物から難しいものまで様々でした。たくさんスペイン語を聞いたり書いたりしゃべったりしたので、アルカラ大学に通ったことにより、スペイン語を多く学ぶことが出来ました。

#### <ホームステイ>

私はスペインの生活を学生寮ではなくホームステイを選びました。理由は三宅先生がホームステイを強くオススメしてくださったからです。実際ホームステイを選択して良かったと思っています。自分のホストマザーは高齢な方でした。今までに多くの日本人や他の国のホームステイを受け入れてきた方で、アルカラ市内の案内や、多くのお話を丁寧にしてくださりました。さらに、私のホームステイ先のごはんが毎食おいしくて、スペインの食文化を深く学べることが出来ました。全ての食事が大変おいしかったです。たまに友達と外食に行く日はママにちゃんと伝えてから行くようにしていました。分からない単語などは、ホストマザーが全て教えてくれました。しかし、全くと言っていいほど英語が通じなくて、困ったときもありました。多くのことを学ぶことができたホームステイでした。

#### <アクティビティ>

スペイン語学研修のプログラムには多くのアクティビティが盛り込まれていました。しかし後半のアクティビティなどはコロナウイルスの影響により中止となってしまいました。前半にはマドリード半日観光、アルカラ市内観光、セゴビア・グラナダ観光が行われ、参加しました。マドリードには多くの店があり、自分たちでも行きたいと思っていました。おいしい食べ物や、有名なチェーン店など訪れたい場所がたくさんありました。マヨール広場という有名な場所にも行けて良かったです。アルカラ市内観光では、ショッピングセンター、百貨店、スーパーに行きました。とても楽しい場所だったので、自分たちでも訪れました。その他、フラメンコレッスンにも参加しました。難しかったです。たのしく踊ることが出来ました。セゴビア・グラナダ観光は泊まりがけの観光でした。三つ星ホテルに泊まり、今までに無い経験をすることができました。多くの観光名所を周り、スペインを味わえた観光でした。景色が素敵な所しかなかったです。

#### <最後に>

今回の研修は冒頭でも記述した通り、1週間ほど短くなってしまいました。しかし、2週間で多くのスペインの魅力を感じることが出来ました。「いつかまた絶対にスペインに行きたい!」と強く思いました。そのために、自分で隙間時間にスペイン語を忘れないよう、学習していきたいなと思います。人生の中でとても思い出に残る経験ができました。



## 2019年度春季海外研修（スペインコース）研修レポート

盛岡短期大学部 Nさん

### 【はじめに】

今回参加した研修は本来、2月29日から3月23日までの24日間の日程で、アルカラ大学での授業と様々なアクティビティが行われる予定でした。しかし、新型コロナウイルスがマドリードをはじめスペインで急激に拡大した影響でアクティビティの大半が中止となり、3月15日にこの研修自体が中止となり帰国することになりました。

### 【きっかけ】

国際文化学科のアメリカ研修の内容や参加するために選考があるなど昨年度と異なる部分が多くあると分かり、アメリカ研修への参加に消極的になったことでスペイン研修へ関心を持つようになりました。スペインにもともと興味があり、第2言語でスペイン語も履修する予定で、せっかくだからスペインに行ってもっとスペイン語が話せるようになりたいと思い参加を決めました。

### 【準備】

スペインはカード社会であるため私はクレジットカードを2枚作りました。VISAかマスターカードであればほとんどのお店で使えるので、クレジットカードは持っていったほうがよいと思います。しかし、アクティビティの支払は現金であったため、自分が参加するアクティビティの費用プラス100€~200€多めに換金して持っていったので水やおかしを買うときにも安心して現金を使うことができました。また、服は多めに持っていくべきという方もいますが、こだわりがないのであればそんなに多くは持っていく必要はないと思います。アクティビティでアルカラ市内のショッピングモールに連れて行ってもらいましたが、そこには日本人が着るような服がたくさん売っていたので現地で購入したほうが行き荷物が軽くなります。ただし、下着に関しては日本から1週間分は最低でも持っていくことをお勧めします。

### 【授業】

初日にマーク式の100問テストと先生との口頭テストがあります。マークテストでは、いつも100点満点中平均点が10点くらいのようなので気軽に受けることができました。また、分からない問題は空欄でよいため、私は10問くらいしかマークしませんでした。口頭テストは簡単な自己紹介などで、私はホストファミリーについて聞かれました。これらのテストで3つのクラスに分けられましたが、私は中級クラスになりました。初級クラスだと思っていたのでとても不安でした。クラス分け後に、申告すれば違うクラスに移動することも可能でしたが、私は少し自分に負荷をかけようと思い中級クラスのままとしました。

案の定、先生の言っていることは理解できない部分が多くあり、周りの人に助けってもらってなんとか毎日4時間の授業を受けていました。分からない部分があった時に先生に質問をすれば丁寧に教えてくれますが、質問しないとどんどん次に進んでしまうので、声に出して分からないことをアピールする必要があります。日本での授業で習ったことのない現在分詞や過去形などをスペイン語で学ぶことになるので、事前に文法書などで知識を入れておけば、もっとスムーズに理解することができたように感じます。

#### 【ホームステイ】

私がお世話になった家は、パパとママ、女子大生の三人家族でした。インコを飼っている家庭でした。学校までは徒歩15分で、周辺にほかの参加者の人もいたので学校まで一緒に行っていました。スペイン人は陽気でたくさんしゃべるイメージがありましたが、私のホストはそこまで会話は多くなくリラックスして過ごせました。家事の多くをパパがしてくれていて、男女平等というのをとても感じました。洗濯は1週間に1回のみでした。聞かれたことにはsiかnoどちらかですぐに答えないとホストが困ってしまうので、とりあえずはっきり返事をした方が良いと思います。最初はうまくコミュニケーションが取れませんでした。徐々に会話が増えて楽しく過ごすことができました。スペイン人の生活を実際に体験してみたい人はホームステイをおすすめします。

#### 【アクティビティ】

私のおすすめはフラメンコ教室です。スペインに行ってから運動する機会はほとんどないため、フラメンコ教室で汗を流すとすっきりし、午前中の授業での失敗や不安なことを忘れることができました。

コロナの影響で様々な変更点がありましたが、まずは憧れのスペインの地に行くことができたので良かったと感じています。行ってみなければ分からないこと、感じることでできないことが本当に沢山ありました。これからもスペイン語の勉強を続けて、次は長期でスペインに留学したいと考えています。とても有意義で自分の糧になる研修でした。